

12月21日(月)

神の栄光

聖書朗読 詩篇 29編

主は、平安を持って、ご自身の民を祝福される。

詩編 29：11

雷鳴、稲妻、粉碎音、叫びに加わり、詩篇 29 編は詩篇の中で最も騒々しい編です。騒ぎを起こしているのは主です。ここで押さえておく要点とは、詩篇の作者は、神様自身の名前を「主」と呼び、29 編の中で 18 回使用しています。「主の声」は更に 7 回も使用しています。

要点は神様——エホバすなわちイスラエルの神——が最初に創造されたこの世のすべての支配者であり、そしていつか新しい天国と新しい世を創造し直しされるのです。古い讃美歌に「力、すべての力、確かに主のもの」という歌詞があります。地球の輪郭をも作り変えることだって出来る力。実際この詩篇の最後の節で述べているように、神様の力は、その民を守り、彼らに平和を与える事に使われました。

これをどう表現すべきでしょうか。イスラエル人が使った言葉は栄光です。神様の究極の力の存在に対してほかの言葉があるでしょうか。神様が私たちに平和をもたらし祝福して下さったことに対して他に何と言えましょうか。『いと高き所に、栄光が、神にあるように。地の上に、平和が、御心にかなう人々にあるように。』（ルカ 2：14）

讃美歌 第二編 233

祈り 父よ。天国、力、栄光は、今も今後もあなたのものです。これを知って平安が得られます。

イエス様の名前を通して祈ります。アーメン。

ポール・L・ワトソン

ノースカロライナ州 ダーラム

今日の力

2015 年 12 月 21 日～12 月 27 日

翻訳 井上輝彦

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

12月22日(火)

神 の 声

聖書朗読 箴言 30：1～6

確かに、私は人間の中でも最も愚かで、私には人間の悟りがない。私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知恵も知らない。
箴言 30：2～3

私は、都会型の人間です。したいことは、車で飛ばすこと、光を点滅させること、注意を引くために大声を上げることです。口論は聞き馴れています、善悪を聞き分けなければなりません。しかしいつも上手く行くとはいりません。

義理の父は、オクラホマ州の南の方で家畜を育てています。春の終わりのころ牧草を刈ります。牧草を刈る、集める、まとめて梱包するのは天候と相談して行います。義父と外へ出ると静かでゆったりとした時の流れが感じられ、家畜の鳴き声、農機具のうなり声、鳥の鳴き声、それに牧草を揺らす風のささやき等の音が別々に聞き取れるのです。

今日の箴言の箇所は、霊的な問題に対しても同様のことを教えています。神様の力によって書かれた権威ある声は聞く価値があるものです。この箇所は義父の農場における光景を比喩的に使い、神様の力を私たちのものに比較して述べています。

『だれが風をたなごころに集めただろうか。だれが水を衣のうちに包んだただろうか。』(箴言 30:4)

天候のように、都会やオクラホマの田舎も不安定要素はあります。今日は日照り、明日は洪水と見通しはつかず無駄をしないために何かを省きます。しかしその不安定要素をコントロールしているお方がおられます。弟子たちが言うように、風や波までがそのお方に従った。そのお方の声は、騒音の中でも通り抜けたのです。

さあそのお方の言葉に耳を傾けましょう。

讃美歌 第二編 194

祈 り 愛する主よ。私たちの日常の騒がしさを取り除いてください。そしてあなただけに耳を傾けることが出来るように助けてください。

イエス様の御名前を通して祈ります。アーメン。

ナサン・シャンク

オクラホマ州 エドモントン

12月23日(水)

罪 の 重 荷

聖書朗読 詩篇 32編

私の咎が、私の頭を越え、重荷のように、私には重すぎるからです。

詩篇 38：4

学生のリュックサックは、重さが15 kgあります。体重の10%以上の重さは推奨されていません。体に負担がかかりすぎるからです。

私たちは、ブロックの塊のように重い罪の入った精神的なリュックを年々背負っています。それは神様の信者に対するご計画ではありません。詩篇32編は、罪を解き放つ教訓があります。手順は簡単ですが、とっても難しいことです。なぜ？ それは最初に告白が必要だからです。ダビテは、5節で言いました。『私のそむきの罪を主に告白しよう。』どうなったと思いますか。『すると、あなたは私の罪のとがめを赦されました。』

それではなぜこの手順が難しいのでしょうか。それは私たちが、罪を犯したことを頑なに認めたがらないからです。ダビテは更に9節で『悟りのない馬や騾馬のようであってはならない。』と忠告しています。古い諺にある「ロバのように頑なに」。

それで思い出しますが、私たちは主に罪を告白しないで、罪の意識の中で悶々としていることは、ありがちなことです。

罪を背負って生きるのを止めませんか。主に私たちの罪を告白しましょう。主に向き合いましょう。そうすれば主から赦しが得られるでしょう。Iヨハネ1：9では『もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。』とあります。あなたの罪を告白し重荷を下ろしましょう。

讃美歌 493

祈 り 愛する主よ。私たちに罪を悟らせてください。そしてあなたに罪を告白する事によって罪から解放されるよう力づけてください。イエス様の血によって許されたことを感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

ジーナ・ゴードン

サウスカロライナ州 メレルインレット

12月24日(木)

滅びの穴からの辛抱

聖書朗読 詩篇 40:1~5

御名を愛する者たちがあなたを誇りますように。

詩篇 5:11

私達の属しているキリスト系大学の聖歌隊で、まだ信仰生活の浅い者たちが、「長い間主を待ち望む」事に関して何か知っているでしょうか。何も知らないでしょう。でも嘆き悲しむ哀悼者のように、いつも詩篇40編の物悲しく始まる音楽を練習しています。

しかし、この長い苦しい期間の後、ダビデは素早く心を主に向けました。したがってこの詩が明るくなり、詩篇40編を歌うメロディー、ハーモニー、テンポも明るくなりました。

ダビデが生涯の祭壇上に自分のイライラを生贄として葬り去り、偶像礼拝を拒否し、自分の思っていた事と認識を変えました。それ故ダビデが言うには、神様が身を傾けられ、聞き入れられ、引き上げられ、固定され、確かなものとされ、ダビデの口に新しい歌を吹き込まれました。神様の行いによりこの詩には喜びが溢れています。

結局、私も主を待つ事に耐えました。それはゆっくりとしたスピードではありますが重大な転機となる経験でした。最初は癌で嘆き、次には治療方法で嘆きました。後に讃美歌によって心を満たすことを学びました。私は、昔のヨブやダビデや12年間出血した女性に寄り添ってきました(同じような体験をしてきたのです)。神様の過去というものは、驚くべきことに、現在の意味や未来への希望を私たちに与えてくださるのです。神様を自慢なさることは、悩んでいる他の人を元気づけます。

讃美歌 194

祈り 昔、過ぎしあなたの目的、計画、力、摂理の詳細それを知らしめ、私たちが待つ時はいつも辛抱を保障して下さったことに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ライネッテ・C・グレイ

テネシー州 ロックフォード

12月25日(金)

善を行う者はいない

聖書朗読 詩篇 53編

愚かな者は心の中で「神はいない」と言っている。彼らは腐っており、忌まわしい不正を行っている。善を行う者はいない。

詩篇 53:1

友達と10代の少年達の後を歩いているとき、「ズボン吊りを付けた方が良いでしょう」と思いました。これは最近の年配者の発する嘆きです。そして礼儀作法の劣化およびそれに続く尊敬の念の不足であると言うコメントが続きます。

しかしそのようなコメントは今に始まったことではありません。私たちは、古くは古代ローマのキケロやプリニウスが若者や政治家の劣化を嘆いた引用を聞いています。ダビデも同様に「民は神様に背を向けた」と言っています。そして彼は赦しを願って祈りました。神様は、最後は御子であるイエス・キリストを通して聞き入れてくださいました。

国や政治家の地位が、私たちを救うことはできません。愚かな人が「神様はいない」と言ったとき、私たちは信仰のために立ち向かいましょう。神様が私たちの生活の中で助けて下さっている話を書き留めておきましょう。キリストの愛を示す聖霊によっていつでも反論できるように準備しておきましょう。私たちの唯一の救い主であるイエス様は、離れていった友達とこの世を歩まれ、なおも彼らだけではなくイエス様に従う次の世代の人たちにも命をお与えになりました。イエス様のように腰の低い友人はいないという事を証言しましょう。

讃美歌 第二編 26

祈り 全知全能の父よ。あなたに代わって証言できますように。周りの人たちに言葉と行いによってあなたの愛を示すことが出来ますように。あなたの愛と恩恵を会う人に示すことが出来るよう助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ラニタ・B・ボイド

ケンタッキー州 フォートトーマス

12月26日(土)

私はあなたを必要としている

聖書朗読 詩篇 70編

神よ。私を救い出してください。主よ。急いで私を助けてください。

詩篇 70：1

小さいとき私は、祈ることを学びました。寝る前のお祈りの中で、テキサスの夏だというのに毎晩雪が降るように、とお願いしました。神様は気にかけてくれ、願いを聞いて答えて下さると信じていました。

大人になって、私の経験から以前の確信や信念が疑わしく思うようになりました。おそらくあなたがたも同じ経験をしたことでしょう。

祈るべきだということは知っています。また祈りはイエス様に従うことの一部であることも知っています。また祈りによって神様や隣人に近づくことが出来ることも知っています。絶えず祈りを通して神様は私たちを磨いて形作ってくださいます。しかし、生きている間には疑念を持ったりします。宇宙の創造者が、なぜ私たちのちっぽけな人生を気にかけてくれるのだろうか。天国と地上の全能の主が、なぜ私たちの祈りに答えてくださるのか。これらの疑問によって、私たちがダメになるのです。疑義が笑っています。しかし神様は尊いお方であり、私たちのことを気にかけて、聞いて、行動してくださいます。

讃美歌 310

祈り 神様。あなたの助けを望んでいます。あなたへの信仰を揺るがすいかなるものも、こちらに来て助けてください。私たちは貧しくあなたを必要としています。あなたは偉大です。

イエス様の御名により。アーメン。

スティーブン・ガインズ
テネシー州 メンフィス

12月27日(日)

お祝い

讃美歌 詩篇 103：8～12

主は、あわれみ深く、情け深い。怒るのにおそく、恵み豊かである。

詩篇 103：8

2001年9月11日以来私の人生は変わりました。他の人のようになり、私もその日の出来事は脳裏に刻まれています。その日は、一番年上の孫娘の誕生日を祝う日でした。そのお祝いも早く切り上げました。

仕事仲間と一緒に立ったままラジオを聞いている時、電話が鳴りました。電話に出て即座にこれから起こることを予測しました。2時間後、周りの人たちが、この国が攻撃されたというニュースに衝撃を受けている時、医者から癌の告知を受けました。

そう、癌です。どうしよう。パウロは、Iテサロニケ 5：16～18で『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたに望んでおられることです。』と述べています。

神様はすでに勝利は私たちにありと主張されました。そしてそれを成就する前に祝っておられます。私たちのすることは神様を信じ、絶えず祈り、感謝し、喜び、勝利を祝うことです。あれから14年。癌が消えたようです。しかしどちらにしても、神様は情け深いお方です。聖書は創世記から黙示録に至るまでそのことを教えています。

讃美歌 267

祈り 天のお父様。私たちの罪をお赦しください。あなたの恵みと慈悲に感謝します。恐れなくて、あなたの豊かな絶え間ない愛を知り、勝利を祝う事が出来るように助けてください。

救世主イエス・キリストの御名により。アーメン。

レネッテ・R・ポーグ
フロリダ州 ジャクソンビル